

【公表】 児童発達支援および放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	Funny-Funnyこどもプラス西八王子教室												
○保護者評価実施期間	2025	年	3	月	1	日	～	2025	年	3	月	10	日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)			31			(回答者数)			15			
○従業者評価実施期間	2025	年	3	月	1	日	～	2025	年	3	月	10	日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)			15			(回答者数)			10			
○事業者向け自己評価表作成日	2025	年	3	月	10	日							

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること *より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・柳沢運動プログラムを用いた運動遊び+静かな活動(フラッシュカード、読み聞かせ、ビジョントレーニング、脳トレ)	運動遊びで体を動かした後に、静かな時間を組み合わせている・楽しみながら身体を動かす生涯にわたって体を動かす喜びを感じてもらう基礎体験	・運動療育のスキルUP研修・大人も楽しく身体を動かす
2	見える化支援と自己選択支援	・オヤツを駄菓子屋さん形式で予算以内で好きなものを選べるようにしている。 ・活動内容によって無理強いせず、選択を尊重し可能な範囲で合理的配慮を行っている。 ・おめめどう@のコミュニケーションメモ等の見える化支援で大人も子どももわかりやすい支援を心がけている。	全職員が活用できるよう、定期的な研修や成功事例の共有をはかり、レベル感を上げて統一感のある支援を目指す。
3	季節や社会とのつながりを感じることができるプログラムを提供(外出、児童館利用、イベント、制作等)・自立に向けた社会・生活体験	・四季折々の公園等自然に触れる外出、児童館や地域資源の活用、調理活動、買い物支援や外食の注文等、お泊り会の実施等様々な体験を積み重ね社会経験のスキルUPを目指している	イベント部の発足により、より計画的に実施していく。 また、他事業所と連携し、より大型のイベントと一緒に作り上げ満足感を高める。

	事業所の弱み(※)だと思われること *事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	広報活動が出来ておらず、せっかくの活動体験を知らない保護者が複数見られた	かつてブログの発信を行っていたが、特定の職員によるサービス残業になってしまい、継続できなくなってしまった	日頃の利用時に使用する利用者への文面を、HUGの活動記録のシステムに転載する、など負担無く継続可能な仕組みを作る。
2	児童数が多い日は教室内が手狭になってしまうことがある	開所当初から教室スペースの狭さは問題としてあった ・建物の増改築等も現状では難しい	・グループや時間を分けたり、身体を動かすスペースと静かに過ごすスペースを分けている ・近隣の公園や広場での活動を取り入れているが、悪天候時は更に工夫要。
3	実施した支援の保護者への十分な報告が難しい	解散、帰宅時の慌ただしさ等により口頭伝達時間が限られる。 また、記録の内容がその日の状況等によりむらがあり、報告文が不十分な時がある。	報告、伝達事項の基準を明らかにし、職員間での声掛けを増やし伝え漏れを防ぐ。 また、記録の書き方のフォームを作るなど、記載する必要性のある項目をわかるようにするなど再検討。